

令和4年度「蔵前小学校 授業改善推進プラン」

調査概要 【台東区総合学力調査】  
 調査対象 台東区蔵前小学校 第6学年  
 実施日 令和4年4月18日  
 実施教科 第6学年 社会

第6学年 社会

1 結果の分析

(1)結果の概要

分類	区分	平均正答率(%)			
		本校	目標値	区	全国
評価の観点	知識・技能	73.1	68.8	72.0	70.4
	思考・判断・表現	70.8	62.5	69.1	67.3
	主体的に学習に取り組む態度	68.3	58.9	67.0	63.5

○全体的な状況の説明

◇評価の観点から

どの観点でも、目標値や全国・区の平均正答率を超えており、基本的な事柄は身に付いている。引き続き、各観点の確実な定着を図っていく。

◇正答率度数分布グラフから

目標値67.1%に対して、本校児童の中央値が77.6%であった。

(2)結果から明らかになった課題

社会	個別の状況(課題)	解決すべき課題
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○知識・技能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地図、資料の読み取りの部分で、目標値に対して下回っている内容が多かった。</li> </ul> </li> <li>○思考・判断・表現                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての内容で目標値より高い正答率だった。</li> </ul> </li> <li>○主体的に学習に取り組む態度                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の主な地形の名称と位置の理解をもとに地図を読み取る内容において、正答率43.8%であり、目標値を1.2%下回った。</li> </ul> </li> </ul>	<p>→図やグラフの題名や数値から、問題解決するために必要な資料なのかを捉えること。また、数値を読み取る力をつけること。</p> <p>→日本の地形の名称と位置関係を、地図を基に理解すること。また、地図から、名称や位置関係を読み取れるようにすること。</p>

2 改善策

(1)具体的な改善策

社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○知識・技能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な資料を選び、図やグラフの題名や数値から読み取りができるよう指導する。</li> <li>・産業と情報の関わりや国土の自然などの様子についての知識を確実に定着させるために、ワークシートに取り組んだり、自分の言葉でノートに記入したりしていくように指導する。</li> </ul> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○思考・判断・表現                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活場面のどこに関わっているのかを考え、どのように生かすことができるか、具体的な場面を捉えさせて問題に取り組ませる。</li> </ul> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的に学習に取り組む態度                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で学習問題を作り、自分事として捉えられるようにすることで、学習意欲を高められるようにする。</li> <li>・問題解決するために必要な資料は何か考えることを、授業の中で繰り返し取り組めるようにする。</li> </ul> </li> </ul>

(2)改善策(手だて)に対する検証

- ・授業でのノート記述や発言の内容を確認する。
- ・単元の最後にワークテストを行い、評価の観点ごとに正答率80%を指標として確認する。